

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成27年9月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要 【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。
 (「好転(上昇、増加)」、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数)

前月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は1から7に増加。「減少した」業種は12から6に減少。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は7から6に減少。「減少した」業種は10のまま変化なし。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は0から1に増加。「悪化した」業種は11のまま変化なし。

前年同月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は4から2に減少。「減少した」業種は10のまま変化なし。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は8のまま変化なし。「減少した」業種は9から12に増加。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は5から3に減少。「悪化した」業種は13から10に減少。

製造業

豆腐製造

【県内全域】

景況の変化は現在、特に変化ありません。業界動向は、全国統一認証マークが来月発行される。

酒類製造

【県内全域】

売上は対前年度比増加も前月に比較し減少。まだまだ売上の上のトレンドは好転しているとは言えない。組合の事業活動は、秋のイベントシーズンに入り、出張販売他増加。

製材

【木更津】

9月入港船なし。入荷がないので在庫は少し減少しているが荷動きは悪い。

印刷

【県内全域】

9月の県内組合員受注売上は、8月とほぼ同様に推移した模様です。シルバークロウイク等休日となり、稼働日数が8月同様で、売上は悪化したまま横這いのようです。個人消費は連休で若干上向いたようですが、消費者物価の上昇・天候不順・公的助成金の減額等で基調として消費は振るわないようです。特殊要因のある地域と何もない地域では景況感にかなりの差異が顕在化して来ています。

鉄工

千葉

ロボット・印刷機械関連等、一部組合員に受注増の企業もみられるが少数派。全体としては景況感の悪化を唱える経営者が多くなってきている。

機械部品製造

【流山】

景況に大きな変化はないようである。

機械部品製造

【柏】

8月に比べ稼働日増に伴う売上高増加となっているが、景況感はマイナス傾向。特に自動車関連、半導体関連がマイナス。

金属製品

【船橋】

景況の変化は、好転は感じられず、停滞した状況。

砕石

【県内全域】

9月末をもって上半期の受注分の搬出が終わりましたが、現状では前年同月比800%であった。本年度の上半期は235%の実績であったが、事業が終了し9月半ばから出荷がストップしている。現在、後年度事業の設計や契約が成されているものの、石材の搬出は11月以降になる見込み。

土砂採取

【県内全域】

地域によって前月比で在庫数量が増加傾向にあり、引き続き低調

気味である。業界動向は、変化が見られず、低迷横這いが続いている。

非製造業

【総合卸売】 【千葉県・東京都】

【総合卸売】 近時、団地周辺の大規模商業施設の出店や増床、大型物流施設の進出により、パート・アルバイト従業員が不足気味で、時給も徐々に上昇し、コストアップになっている。

【建築材料卸売】 【県内全域】

内需産業は明らかに減退下降局面に向かっている。1年前の特需想定から、数か月前に横這い踊り場へ修正したのも束の間、8月9月と想定外の激しい落込みとなり、契約残からみても新規引き合いからみてもかなり長いタームの悪化局面に入った。

【自動車解体】 【県内全域】

鉄スクラップ価格下落が続き、銅・アルミ等の非鉄金属も安いため売り上げが下がる中、車の仕入れ価格はなかなか下がらず、非常に厳しい状況。

【乾物卸売】 【県内全域】

景気の変化について、引き続き低調。千葉海苔消費拡大戦略の一つとして10月25日、協同組合フェ

アに応援協力。千葉市の紹介でオニオン新聞、ホテルメイプルイン幕張のご協力のもと、海苔本来の風味を体感する「海苔フェア（仮称）」を企画。海苔バイキング・利き海苔・海苔巻き教室等計画。

【卸売】 【茂原】

あまり景況は良くありません。人々の集まる時期、時間は読むことはできませんし、忙しい日々があるかと思えば、極端によくない日がありますので、不安定です。

【卸売】 【柏】

物販は総じて苦戦している。当組合の場合、店舗構成が多岐に渡っているため、全体としては変化はない。

【電気機器小売】 【県内全域】

景況の変化について、9月は組合挙げての家電安全点検月間で、昨年5千軒、今年は1万軒目標で頑張っている。7月、8月のエアコンで有る程度救われたが、9月は売れるものが無く厳しい。

【青果小売】 【千葉】

相変わらず野菜の入荷が安定せず、高値で取引されている。売上は増加しているが収益がとりにくい。

【中古車仕入・販売】 【県内全域】

組合の事業活動等は、組合員向け、組合員店舗従業員向けの講習会を9月から10月11月に渡って開催する。また、上期利益を組合員へ還元する案を検討開始。

【小売・サービス】 【柏】

景況の変化について、天候不順雨続きがもたらしている。個人の節約志向が一向に改善されない。プレミアム商品券での売上増への影響は全く無くなった。理事会の席でも積極的意見は全く出ず後ろ向き発言に終始。

【遊覧船】 【鴨川】

景況の変化について、9月は、台風等で欠航が7日あったが（前年同月は1回）、シルバークの5連休で入込数が伸び、前年の売上を上回った（約5%増）。また、9月と比べて約91%の売上げとなった（約9%減）。

【学習塾】 【県内全域】

景況の変化について、夏期講習外部受講生の入塾結果はそれほど期待できず。

【土木建築サービス】 【県内全域】

景況の変化について、9月下旬に「アベノミクスは第2ステージに移る」と経済最優先の政策運営

が表明され、「新・三本の矢」として、①GDP 600兆円②出生率1.8

③介護離職ゼロが掲げられた。一方、グローバル経済では、中国経済の減速の悪影響が様々な方面で確認され、株安が消費を冷やす負の連鎖も警戒されていること、完全失業率、有効求人倍率、消費支出等の動きもまだら模様であり、予断を許さない状況が続いている。

【建設業】 【県内全域】

上半期累計での公共工事落札状況は、対同年同期比△2.4%となった。11地区中8地区が前年上期より実績を下回り、増加した8地区がそれぞれ大幅な増加率（平均50%強）を示し、牽引した。安房・香取地区の市長村分が好調。千葉市関連が低迷。

【貨物運送】 【野田】

景況の変化について、9月は連休があったせいがあるという間に終わってしまった気がする。組合の事業活動等について、いよいよマイナンバー制度が動き出し、各組合員会社も対応に追われだすと思う。組合としては、直接関係することは少ないが情報提示できるような心掛けていく。